

1月の米国ハイ・イールド債券は小幅続伸

ポイント



- 1月の米国ハイ・イールド債券市場概況
- 新型コロナウイルス・ワクチンの接種動向
- 今後の経済・市場見通し

1. 1月の米国ハイ・イールド債券市場概況

1月の米国ハイ・イールド債券は小幅続伸

1月の米国ハイ・イールド債券市場は+0.39%のリターンとなりました。米5年国債利回りは+0.07%、対米5年国債スプレッドは▲0.01%となりほぼ横ばいで推移しました。

1月初旬に民主党が実質的に上院多数派を勝ち取ったことで、最大1.9兆米ドル規模の財政刺激策の実現可能性が高まり、年後半にかけて米経済が力強く回復する見方が強まっています。そのため、市場ではFRBによる金融緩和の段階的解除を懸念していますが、FRBはそうした議論をけん制、金融緩和継続を訴えています。

引き続き低格付けカテゴリーが好調

格付別の月間リターンは、CCC格以下+2.36%、B格+0.22%、BB格+0.02%となり、CCC格以下が米国ハイ・イールド債券市場全体を上回りました。セクター別月間リターンでは、エンターテイメント+16.92%、出版+2.28%、製鉄+1.68%が値上がり上位3業種で、レジャー▲0.80%、ケーブルテレビ▲0.59%、ホテル▲0.56%が下位3業種でした。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

米国ハイ・イールド債券市場の動向

	リターン		利回り	
	1月	年初来	1月	前月比
米国ハイ・イールド債券指数 (全体)	0.39%	0.39%	4.32%	0.06%
格付け別				
BB格	0.02%	0.02%	3.34%	0.12%
B格	0.22%	0.22%	4.67%	0.18%
CCC格以下	2.36%	2.36%	7.70%	-0.55%
セクター別				
エンターテイメント	16.92%	16.92%		
出版	2.28%	2.28%		
製鉄	1.68%	1.68%		
ホテル	-0.56%	-0.56%		
ケーブルテレビ	-0.59%	-0.59%		
レジャー	-0.80%	-0.80%		
米国債 (5年)	-0.33%	-0.33%	0.43%	0.07%
米国債 (10年)	-1.62%	-1.62%	1.09%	0.18%

時点：2021年1月末時点

セクターについては、1月リターンの上位3業種と下位3業種をあげています。

使用している指数については、P4をご参照ください。

(出所) ICE、ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

注：FRB：米連邦準備制度理事会

2. 新型コロナウイルス・ワクチンの接種動向

新型コロナウイルス・ワクチンの接種動向

昨年の暮れ頃より、世界各国・地域で新型コロナウイルス・ワクチンの接種が始まっています。英オックスフォード大学などによる調査(Our World in Data)によれば、2月7日時点で世界でワクチン接種が最も多く行なわれているのが米国の4,000万回以上で、1回以上の接種を受けた人が3,150万人程度と人口の10%近くに及んでいます。

また、1回以上の接種を受けた人の総人口に対する割合が突出して高い国がUAE(アラブ首長国連邦)とイスラエルの40%超で、中でもイスラエルは必要とされる2回の接種を終えた人が25%程度に達しています。この両国の接種率が70%を超えて「集団免疫」を獲得できた時に、はたして感染拡大が止まるかどうか注目されています。

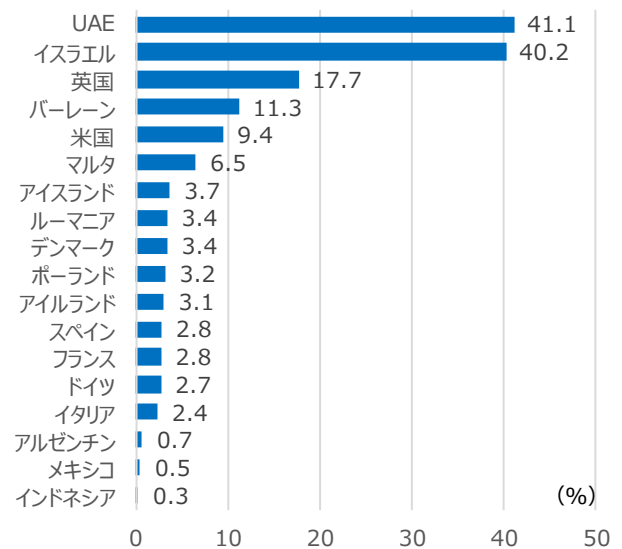
アフター・コロナの時代を考える

現在、世界中で新型コロナ感染防止のために厳しい行動規制が行なわれており、人々の経済活動が停滞しています。しかし、停滞によって逆に貯蓄は積み上がっており、米国の貯蓄率は近年にない高いレベルで推移しています。

この意味するところは、コロナの危機さえ去れば、人々は大いに消費するだけの貯えがあることを意味します。UAEとイスラエルで感染拡大が止まれば、世界中でワクチン接種が加速し、多くの国が「集団免疫」に達し、経済活動が盛り上がるのが想定できます。そして、今のペースで接種が進めば、その時期は今年の後半のどこかでやってくる可能性が高いと考えており、アフター・コロナの世界を想像していくべき段階に入ったと考えています。

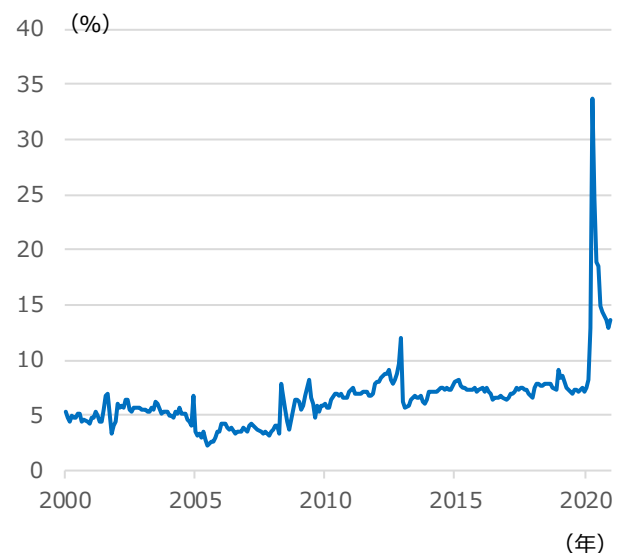
上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

新型コロナウイルス・ワクチン接種状況



※新型コロナウイルス・ワクチンを1回以上接種した人の総人口に対する割合
 ※2021年2月7日時点で判明したデータ
 (出所) Our World in Dataを基に野村アセットマネジメント作成

米国の家計貯蓄率の推移



貯蓄率：貯蓄額÷可処分所得
 期間：2000年1月～2020年12月、月次
 (出所) ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

3. 今後の経済・市場見通し

今後の経済見通し

前ページで述べたように、新型コロナウイルス・ワクチンの普及は、今後数ヵ月にわたって一段の進捗が予想されます。そして、米国について言えば、高い貯蓄率を背景に繰延需要が年後半に大きな需要となって発生する可能性があるでしょう。

一方で、ハイ・イールド債券以外の市場において、1999年のハイテク株バブルを彷彿させるような極端な投機の兆候が見られることを警戒しています。ビットコインなどの仮想通貨、ハイテク株、一部の小型株など、様々な種類の投機が見られます。FRBは1999年から2000年にかけて5回の利上げを行っていませんが、現在はよりハト派的な姿勢を維持すると考えられるので、投機はもうしばらく続くかもしれませんが、割高なバリュエーションはやがて修正されると思われます。そのような状況に陥った際に、巻き添えを可能な限り回避することを目指しながら、より幅広い市場を注視していく予定です。

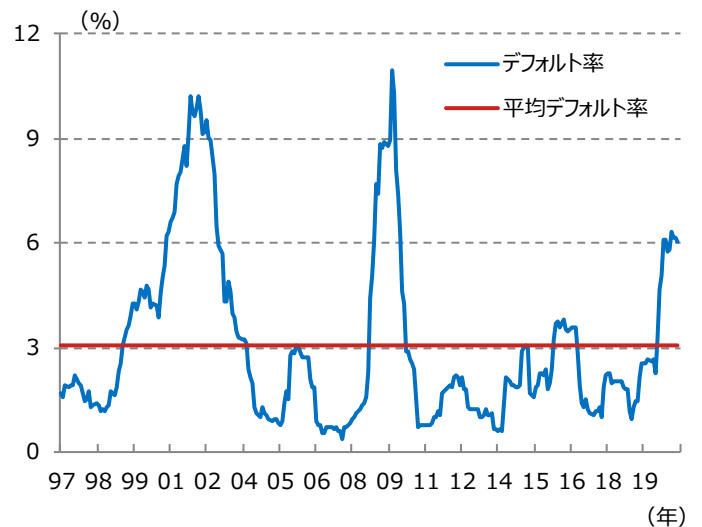
今後の市場見通し

米国ハイ・イールド債券市場のデフォルト率(金額ベース)は1月末で6.04%となり、12月末(6.17%)の水準から低下しました(右上図参照)。今後12ヵ月の米国ハイ・イールド債券市場のデフォルト率は低下傾向で推移すると予想しています。

1月末時点で、米国ハイ・イールド債券市場の利回りは4.32%、対5年国債スプレッドは3.89%と(右下図参照)、前月並みの水準でしたが、クオリティの高い銘柄を割安な水準で購入することを継続していけば、中長期視点では有望な投資先の一つであると考えています。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

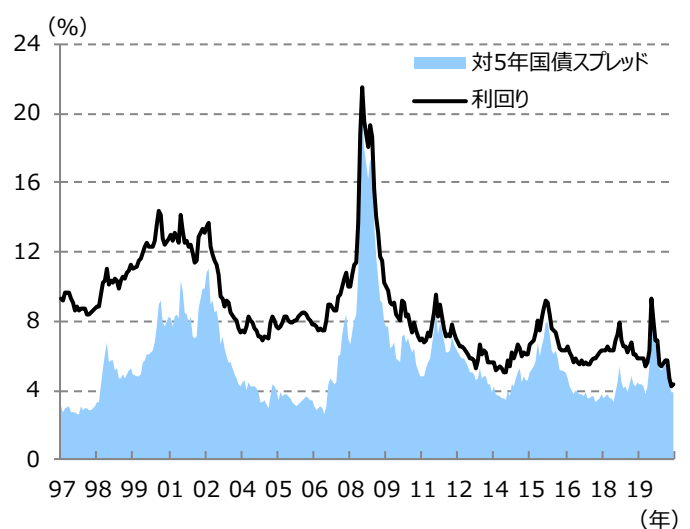
米国ハイ・イールド債券のデフォルト率の推移



期間：1997年1月末～2021年1月末、月次

※ 平均デフォルト率は、1997年1月末～2021年1月末の平均値
(出所) JPモルガンのデータを基に野村アセットマネジメント作成

米国ハイ・イールド債券の利回り、スプレッドの推移



期間：1997年1月末～2021年1月末、月次

※ スプレッドは米5年国債利回りの差

使用している指数については、P4をご参照ください。

(出所) ICEのデータを基に野村アセットマネジメント作成

<当資料で使用した指数について>

米国ハイ・イールド債券指数(全体) : ICE BofA U.S. High Yield Constrained Index SM/®

米国ハイ・イールド債券指数(BB格) : ICE BofA U.S. High Yield BB Rated Constrained Index SM/®

米国ハイ・イールド債券指数(B格) : ICE BofA U.S. High Yield B Rated Constrained Index SM/®

米国ハイ・イールド債券指数(CCC格以下) : ICE BofA U.S. High Yield CCC and Lower Rated Constrained Index SM/®

米国ハイ・イールド債券指数(各セクター指数) : ICE BofA U.S. High Yield Index SM/®の各セクター指数

米国債券 : ICE BofA Current 5/10-Year US Treasury Index SM/®

<当資料で使用した指数の著作権等について>

- 「ICE BofA U.S. High Yield Constrained Index SM/®」は、米国ハイ・イールド債市場のパフォーマンスを表す代表的な指数です。
- 「ICE BofA U.S. High Yield BB Rated Constrained Index SM/®」、「ICE BofA U.S. High Yield B Rated Constrained Index SM/®」、「ICE BofA U.S. High Yield CCC and Lower Rated Constrained Index SM/®」は、「ICE BofA U.S. High Yield Constrained Index SM/®」のうち、それぞれ、BB格、B格、CCC格以下の社債を集合させた指数です。
- 「ICE BofA U.S. High Yield Index SM/®の各セクター指数」は、「ICE BofA U.S. High Yield Index SM/®」のうち、各セクターの社債を集合させた指数です。
- 「ICE BofA Current 5/10-Year US Treasury Index SM/®」は、米国5/10年国債のパフォーマンスを表す代表的な指数です。
- 当該指数はICE Data Indices, LLCまたはその関連会社の登録商標です。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はICE BofAに帰属しております。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村アセットマネジメント

野村アセットマネジメントからのお知らせ

■ ご注意

下記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をご覧ください。

■ 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■ 投資信託に係る費用について

以下の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

2021年2月現在

ご購入時手数料 《上限3.85%（税込み）》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。 投資信託によっては、換金時（および償還時）に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用（信託報酬） 《上限2.222%（税込み）》	投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 * 一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 * ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください、ご自身でご判断下さい。

商号：野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会／
 一般社団法人日本投資顧問業協会／
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会